

学習課題（小学校2年生）



【国語】

〈学習内容〉

◆「カンジーはかせの大はつめい」（㊦104～105 ページ）にとり組みます。

- (1) 教科書を読みましょう。
- (2) 1～3 のもんだいにとりくみましょう。答えは、ノートやとりくみシートに書きましょう。

◆「ことばを楽しもう」（㊦106 ページ）にとり組みます。

- (1) 教科書にのっている文を上から読んだり、下から読んだりして楽しみましょう。

◆「読んで、かんじたことをつたえ合おう『スーホの白い馬』」（㊦107～126 ページ）にとり組みます。

お話を読んで心をうごかされたところをつたえる学しゅうです。

- (1) これまでに読んだ教科書のお話や本で、心にのこったことはありますか。思い出してみましょう。



「お手紙」では、がまくんとかえるくんが、しあわせなきもちでかえるくんの書いたお手紙をまっいて、自分までうれしいきもちになったよ。

- (2) 「スーホの白い馬」を音読しましょう。
- (3) 「スーホの白い馬」をを読んで、どんなことが強く心にのこりましたか。ノートやとりくみシートに書きましょう。
- (4) 「スーホの白い馬」をもう一ど読み、お話のじゅんに、「スーホ」や「白馬」の **したこと** や **言ったこと** で、あなたが心をうごかされたのはどこですか。

① 「スーホ」と「白馬」との出会い

（教科書 110 ページから 112 ページ6行目まで）

② ひつじをおおかみからまもる「白馬」

（教科書 112 ページ7行目から 113 ページ9行目まで）

③ 「白馬」をとのさまにとり上げられた「スーホ」

（教科書 113 ページ 10 行目から 116 ページ 10 行目まで）

116 ページ 11 行目から先は、じかいのかだいでとりくみます。

※「スーホ」や「白馬」の、「したこと」、「言ったこと」に線を引いて、線を引いたぶぶんから、心がうごかされたところをえらんでもいいですね。

(5) (4)で見つけてえらんだところから、心がうごかされたりゆうを書きましょう。

※つぎの〈れい〉や、〈さんこう〉を見て、ノートやとりくみシートに書きましょう。

〈れい〉

①「スーホ」と「白馬」との
出会い

わたしはスーホが小さな
白い子馬をつれて帰ってき
たところに、心がうごかされ
ました。

りゆうは、「ほうっておい
たら、おかみに食われて
しまうかもしれない。」と、
子馬のことを心ばいしてい
たスーホが、とてもやさしい
なと思ったからです。

〈さんこう〉

「スーホ」や「白馬」のしたことや言ったことが書いてあるところを見付けたら、そのときのじんぶつのようなすをそうぞうしてみましよう。どんなことをかんじましたか。

161～162 ページ「ことばのたからばこ」の「じんぶつをあらわすことば」や「気もちをあらわすことば」のなかに、自分がかんじたことにぴったりくることばがあるかもしれません。



◆あたらしいかん字「北(108 ページ)」～「弱(121 ページ)」まで、ノートやとり組みシートにれんしゅうしましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「カンジーはかせの大はつめい」では、教科書の問題に取り組みます。丸付けをしてあげてください。
- ・「スーホの白い馬」では、お話を読んで、心を動かされたことを伝え合う学習を行います。(1)で初めて読んで心に残ったことをノートや取組シートに書いておき、(2)以降でもう一度読み進める中で、人物のどんな行動や会話から心が動かされたかを考えていきます。
- ・感想をもつ学習の中で、「おもしろい」「かなしい」理由が深まったり、もっと自分の気持ちにぴったりくる言葉が増えたりするような学習ができればと思います。P161～162 の「ことばのたからばこ」で、気持ちを表す適切な言葉を探したり、おうちの人が感じた言葉を教えてあげたりすることも効果的です。